

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ケアライフサポートトリボン				公表日	2025/3/15
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	活動内容によって机や椅子をフロア外に出したり、床にテープを貼るなど、最大に効率よく使えるようにスペースを確保しています。	学習時間が異なる場合のスペースの確保。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	人員は適切に配置しております。	手厚い支援や特性によるマンツーマン対応などのために必要に応じた増員。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	活動時間・活動内容・お当番表・送迎乗車位置・当日の利用児童の顔写真・トイレ・洗面台の使い方など掲示し可視化しています。バリアフリー・トイレの手すり・福祉車両も導入しております。	収納棚に何が入っているか明記しているが、もっと分かりやすくするための絵や写真などの添付。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	こども達と一緒に掃除をする時間を毎日設け、こども帰宅後に職員がもう一度掃除をしています。こどもが自分で出し入れしやすいように本棚などを整理し、室温調整・明るさの確保など快適に過ごせるように努めています。	使用頻度の低い活動・レク用品の収納場所の確保。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	宿題や宿舎が活動中に集中できないことや夜更けが不安定なときはパーテーションで仕切ったり、事務所に机を置き過ごせるようにしています。	安全に仕切られ且つ職員が目が行き届く個別スペースの工夫。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	日々の申し送り、連絡帳、定期職員会議、各委員会の設置などPDCAサイクルに基づく意見交換の場を設けています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者からのご意見に対して、職員間で共有し話し合い業務改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	定期的な会議や送迎後などに質疑応答・意見交換の場を設け、業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	-	-	第三者外部評価は実施しておりません。	必要に応じ検討。
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	外部研修の参加募集案内・参加奨励、外部研修参加後の内部伝達研修、定期的な内部研修を行っています。研修後は報告書を記入しています。	外部研修参加時の配置人員の確保。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	公表と同時にホームページでも閲覧できるようにしています。	見直し・改定の時期の決定。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	保護者とのモニタリング・アセスメントを通して、生活に対する意向を保護者と子ども本人に伺っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、発達支援及び管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	全職員がモニタリング・支援計画原案作成時の個別支援会議（紙面開催含む）に関わり、共通理解のもと支援計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	支援に入る前に計画書を一読できるようファイリングしています。	
	15	こどもの認知行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	普段の活動の様子・行動を観察し、連絡帳や業務日誌に記録し、気づきや子供の変化を会議や申し送りで共有しています。	アセスメントシート以外のチェックリスト・発達に関する検査など必要に応じて検討。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	子ども本人や家族の意向を伺った上で、発達段階や特性などを踏まえて整理して設定しています。支援内容と留意事項は、目標に向けて支援の提供が適切に行われるように具体的に記載するようにしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	立案書・行事計画書は全職員が随時記入できるようにしています。前回の感想や反省を取り入れ、検討・実行しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	毎月少なくとも一つは新しい活動を取り入れています。同じ活動でもルールや役割を変えたり、流れを工夫しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	一日の流れの中に、個別活動と集団活動の時間を設けています。個人差や特性、感情の起伏に配慮しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	連絡事項・注意事項・支援内容・送迎順など申し送りする時間を設けています。参加できないときは業務日誌など確認後、支援に入るようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	送迎後の申し送りを含め、レクや活動の様子・場面ごとのこどもの言動などについて気づきを共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	業務日誌・連絡帳と合わせ、活動内容についての取り組み・ねらい・こども達の変化を「療育に繋げよう」として記録しています。会議等の議事録も記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	年間でモニタリング時期の計画を立てています。ご家庭の状況が変わったとき・長期の入退院後など必要のあるときは随時、新規利用の場合は利用3か月後に見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	7	0	場面に合った振る舞い・対人関係・手先・工作・散歩・地域のお祭り・公共の乗り物・外出（レジャー・施設）・料理・就労施設見学など組み合わせ多様な活動を支援しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	活動に「選好の遊び」や「買い物」などを取り入れ自己決定の力を育てています。また気持ちや考えを引き出すような声かけを心掛けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	多角的に意見の交換をするため、会議には2人以上で参加するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	5		医療的ケア児が在籍していない等で、一部の関係機関に留まる。幅広い連携を目指す。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	送迎時の申し送りを徹底し、対学校だけでなく保護者との三者で確認しています。学校主催の連絡会などに積極的に参加しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	保護者からの情報提供を元に、必要に応じ情報収集に努めています。（特に新1年生利用開始時）	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	終了時評価を行い、情報提供体制を整えています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	事業所連絡会などを通じ助言を受けています。研修に参加する体制を作っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	地域のお祭りや公民館際などの行事に参加しています。	中高生が参加・利用しづらい。保護者のニーズとして地域の子供との交流が挙がりにくい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	7		個別支援会議等の個別のケースから地域ニーズに行きついていない。課題の共有を目指す。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	連絡帳記入や送迎時の申し送りで状況を伝え合い、保護者の悩みやニーズを職員間で共有し理解に努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	7		個別の保護者対応に留まっている。研修への参加。情報の収集。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		契約時だけでは保護者の周知が低い。改定後など定期的な説明の機会を設ける。
	37	放課後等デイサービス提供を伴う際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	事業所はいつでも開放しています。電話やメールなどでも応じています。相談報告書に記録しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	毎年、親子参加型イベントを企画しています。	仕事や家庭の事情で学校以外の保護者会を煩わしく思われる一方で、保護者参加型のイベントを増やしてほしいとのニーズもある。多岐に渡る参加しやすい保護者と家族（きょうだい含む）の交流の機会を提供する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情があった場合は速やかに上司に報告・相談しています。改善策をこどもや保護者に周知し、苦情報告書に記録しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	活動の様子をHP・SNSで毎日発信しています。月ごとに個別の写真の配布、年間の全体写真集を発行しています。月々の予定表以外に必要な応じた活動概要のお知らせを配布しています。	BCPに基づいた説明会の必要性。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の記載のある書類は鍵の付いた書庫にて管理、保護者の署名や確認等が必要な場合は封筒に入れて手渡ししています。SNS等の発信の際は個人の特定に繋がらないように職員の名も隠すようにしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	短い言葉で簡潔に説明したり、選択肢をいくつか用意したり、表情や身振りなどで意思疎通を図っています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	公園・散歩時に地域の皆様のご協力をいただいています。ハロウィンでは訪問を快く引き受けていただいています。	感染予防の観点から招待は行えていない。このような行事にするのか・規模はどのくらいにするのかなど次期取り入れに向けた話し合いが必要。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各委員会を設置し、定期的にマニュアルの見直し・訓練等を実施しています。	保護者への周知が低い。保護者向けの説明会の開催や合同訓練の開催。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		災害規模の大きさや災害時間帯に合わせた訓練の実施。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	支援前の申し送り等で全職員に周知しています。服薬や発作の記録は連絡帳・業務日誌に記入しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	医師の指示書がある食物アレルギーのこどもは現在通われておりません。幼少期の食物アレルギーを把握し、おやつやクッキングなどでは個別対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	研修・訓練は適時行い、安全管理は各チェックシートを活用しています。	安全管理項目が多岐に渡る。日常業務への組み込み方。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	緊急連絡シート・連絡先一覧・併用事業所連絡先一覧など作成しファイルしています。	説明会の開催や取り組み内容の報告で周知徹底を図る。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットは即時、記録・回覧し、再発防止策の検討は月に一度、職員全員で行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	委員会を設置し職員の研修（会社全体・事業所ごと）を行っています。障がいの理解の研修も行い虐待防止に努めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	契約時に説明を行い、ご理解をいただいております。どのようなことが身体拘束に当たるのか職員で話し合い、疑問を解決しています。	